



ユーザ デバイス プロファイルの削除

ここでは、ユーザ デバイス プロファイル (UDP) のグループを Cisco CallManager データベースから削除する手順を説明します。

次の 2 つの方法を使用して既存の電話機レコードを検索することができます。

- [クエリーを使用した UDP の削除 \(P.38-2\)](#)
- [カスタム ファイルを使用した UDP の削除 \(P.38-4\)](#)

クエリーを使用した UDP の削除

削除するレコードを探すには、クエリー フィルタを定義する必要があります。Cisco CallManager から UDP を削除する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 **Bulk Administration > User Device Profiles > Delete User Device Profiles > Query** の順に選択します。

Delete User Device Profiles Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 Find ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。

- User
- Autogenerated
- All

ステップ 3 最初の Device Profiles where ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索基準を選択します。

- Profile Name
- Description
- Device Type

ステップ 4 2 番目の Device Profiles where ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索基準を選択します。

- begins with
- contains
- is exactly
- ends with
- is empty
- is not empty

ステップ 5 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



ヒント データベースに登録されているすべての UDP を検索するには、検索テキストを入力せずに **Find** をクリックします。

ステップ 6 クエリーをさらに定義する場合や、複数のフィルタを追加するには、Search Within Results チェック ボックスをオンにし、ドロップダウン ボックスから **AND** または **OR** を選択してステップ 2 と 5 を繰り返します。

ステップ 7 Find をクリックします。

検索されたテンプレートのリストが、次の項目別に表示されます。

- Device Profile Name
- Description
- Device Type
- Profile Type

ステップ 8 Job Information 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 9 Run Immediately オプション ボタンをクリックして UDP レコードを即座に削除するか、Run Later をクリックして後で削除します。

ステップ 10 Submit をクリックして、電話機レコードを削除するジョブを作成します。

ステップ 11 Bulk Administration メイン メニューの Job Scheduler オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、[第 51 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.54-4 の「BAT ログ ファイル」](#)を参照してください。

**注意**

クエリー テキスト ボックスに情報を何も入力しないと、すべての UDP レコードが削除されます。削除は最終的な操作なので、削除したレコードは復元できません。

その他の項目

詳細については、[P.38-5 の「関連項目」](#)を参照してください。

カスタム ファイルを使用した UDP の削除

テキスト エディタを使用して、削除する UDP のカスタム ファイルを作成することができます。同一のカスタム ファイルの中に、デバイス プロファイル名、デバイス プロファイルの説明、電話番号を含めることができますが、複数の電話番号を同じファイルに入れることはできません。複数のファイルを作成する必要があります。1 つのファイルには、デバイス名と MAC アドレスを含め、もう 1 つのファイルには電話番号を含めます。



(注)

回線を共有している UDP は、カスタム ファイルを使用して削除することはできません。

始める前に

1. 削除する UDP について次の詳細のいずれかを記載するテキスト ファイルを作成します。
 - プロファイル名
 - プロファイルの説明
 - 電話番号
2. テキスト ファイルで 1 行に 1 項目ずつ配置します。
3. カスタム ファイルを Cisco CallManager サーバの最初のノードにアップロードします。詳細については、[P.2-5](#) の「[ファイルのアップロード](#)」を参照してください。

カスタム ファイルに記載されている UDP を削除する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 Bulk Administration > User Device Profiles > Delete User Device Profiles > Custom File の順に選択します。

Delete User Device Profiles Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 Delete ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。

- User
- Autogenerated
- All

ステップ 3 Device Profiles where ドロップダウン リスト ボックスで、作成したカスタム ファイルのタイプを次のいずれかの基準から選択します。

- Profile Name
- Profile Description
- Directory Number

ステップ 4 カスタム ファイルのリストで、この削除用のカスタム ファイルのファイル名を選択します。

ステップ 5 Find をクリックします。

ステップ 6 検索基準に一致する UDP のリストが表示されます。

ステップ 7 **Submit** をクリックして、UDP を削除するジョブを作成します。

Bulk Administration メイン メニューの Job Scheduler オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。ジョブの詳細については、[第 51 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.54-4 の「BAT ログ ファイル」](#)を参照してください。

その他の項目

詳細については、[P.38-5 の「関連項目」](#)を参照してください。

関連項目

- [クエリーを使用した UDP の削除 \(P.38-2\)](#)
- [カスタム ファイルを使用した UDP の削除 \(P.38-4\)](#)
- [ファイルのアップロード \(P.2-5\)](#)
- [ジョブのスケジュール \(P.51-1\)](#)
- [TAPS の概要 \(P.52-2\)](#)
- [BAT ログ ファイル \(P.54-4\)](#)

■ 関連項目